

令和5年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	特定非営利活動法人よこはまチャイルドライン		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	子ども支援者連続講座 2023		
事業の目的	チャイルドラインの電話を受けるボランティアは、子どもを傷つけないためにあらゆる分野の勉強や傾聴の基本を身につける必要がある。その基本を学ぶための講座を開催する。		
事業概要	<p>子どもの現状を理解し、多方面に秀でた講師を招き「子ども支援者養成講座」を開催する。当団体に所属するボランティアのスキルアップにとどまらず、地域や職場で子ども支援をする大人にも広く参加を募り、子どもとの向き合い方を学ぶ。</p> <p><u>子ども支援者連続講座 2023</u></p> <p>① 7月1日(土)10:00～12:30 「チャイルドライン活動における性の電話」 松原康雄・松橋秀之</p> <p>② 7月8日(土) 「思春期のこころの性」 岩室紳紳也</p> <p>③ 7月15日(土) 「助産師と考える思春期の性」 三原路子</p> <p>④ 7月22日(土) 「性の多様性」 遠藤まめた</p> <p>⑤ 7月29日(土) 「小児性愛という病と加害者プログラム」 斉藤章佳</p>		
成果や課題	子ども支援者連続講座の受講参加者は、あらゆる分野の学びを通し、子どもの声を傾聴できる基本姿勢を身につけることができました。多方面の講師を招いたことで、子どもの現状を幅広く理解することができ、現在活動中の受け手ボランティアのスキルアップにつながったと思います。今後の課題として性被害を未然に防止するため子どもたちにも性の知識を身につける講座などを実施できるよう周知検討していきます。		
今後の展望	講座の開催は団体の活動の周知につながるため、会員や寄付者の増加につながるよう、今後も継続して講座の実施を行っていきたい。そのうえで、子どもの健全な育成の一助となるよう、子どもの現状を知り理解に努めるおとなを社会に増やしていきたいと考えています。		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	 		